

わたしが難波橋の
ライオン像をつくりました！！

なにわの彫刻家 天岡均一

没後100年記念展

2024

5/8 水

7/8 月



東京美術学校時代の天岡均一肖像写真
(三田市蔵)



天岡露香肖像写真
(一力昭子氏蔵)



難波橋ライオン像（南詰西側）



天岡均一肖像写真
(三田市蔵)



難波橋ライオン像（南詰東側）



天岡均一は、明治8年（1875）に兵庫県有馬郡三田町（現、三田市）で生まれました。天岡家は、摂津三田藩士族で、父・源六は有馬郡選出の兵庫県議会議員を務めました。源六は三田焼の保存活動に尽力しましたが、均一も三田焼の石膏型を作成するなど三田焼の保存に努めました。明治25年（1892）、東京美術学校（現、東京藝術大学）に入学し、竹内久一・高村光雲等に師事します。明治31年（1898）、前年に公布された古社寺保存法に基づき新納忠之介を中心に文化財彫刻の修理がはじめられますが、均一は新納のもとで和歌山県下の国宝修理に従事しています。この経験から、均一は生涯にわたって数多くの優れた仏像作品を手がけました。大正9年（1920）には、8カ月にわたりフランス・イタリアを巡って西洋美術を視察しています。これに先立ち、大正4年（1915）には、大阪を代表する橋の一つである難波橋のライオン像を完成させています。

均一は、俳人としても知られ、俳画も得意としました。とくに、俳友として正岡子規の門人である青木月斗や芦田秋双・松村鬼史と深く交流しています。

また、均一の妻である露香（香）も均一とともに工芸活動に従事し、彫刻作品のほか、陶芸作品も数多く手がけています。

天岡均一の作品



「ライオン像」(九鬼隆章氏蔵)

難波橋のライオン像制作のために試作を兼ねてつくられたと伝えられています。均一は動物をモチーフとした作品を数多く手がけていますが、いずれも躍動感あふれる造りとなっているのが特徴です。大正4年(1915)に開園した天王寺動物園に足しげく通い、スケッチしています。



「虎像」(個人蔵)



「青銅地藏尊」
(三田市蔵)



「夏子像」
(個人蔵)



天岡均一句幅
(丹羽建蔵氏蔵)



「雛図」
(浅田昌彦氏蔵)

「馬像」(奥谷武彦氏蔵)

明治45年(1912)に均一が友人の長男誕生に際して制作したものです。均一は、第5回内国勧業博覧会受賞作品の「豊公騎馬像」や湊川神社の神馬像(現存せず)など馬をモチーフにした作品を数多く手がけています。



「金剛力士像」(吉田廣志氏蔵)

明治44年(1911)に制作されたもので、阿吽形の仁王像のうちの1体・吽形です。筋肉隆々として裾の衣文表現も躍動的な造りとなっています。



「慈恩大師像 (古三田青磁)」(個人蔵)
均一は、明治31年(1898)に三田焼の窯元より
依頼されて様々な石膏型を制作していますが、
本作はその石膏型によるものです。



「楽龍文皿」
(丹羽建蔵氏蔵)



「羅漢塑像」
(個人蔵)

天岡 蒔香の作品



「小犬像」
(丹羽建蔵氏蔵)



天岡蒔香作・芦田秋双句賛「菓子鉢 (銘・薫風)」
(個人蔵)



「赤楽茶碗」
(個人蔵)

天岡均一・蒔香関係年表

明治8年(1875)	有馬郡三田町屋敷町にて生まれる
22年(1889)	蒔香(香)、佐倉藩医・津田長人の三女として佐倉にて生まれる
23年(1890)	父・天岡源六死去(均一 15歳)
25年(1892)	東京美術学校(現、東京藝術大学)彫刻科入学
29年(1896)	木彫「猿」制作
30年(1897)	「聖観音像」制作(香取秀真合作) 「老婆像」制作(東京藝術大学美術館所蔵) 東京美術学校卒業
31年(1898)	岡倉天心が日本美術院を創立 均一、日本美術院の実技担当として古社寺の仏像彫刻修理に携わる 三田青磁・石膏原型「慈恩大師像」制作 「仁徳天皇1500年記念尊像」制作
33年(1900)	「九鬼嘉隆公紀功碑」制作(旧三田城内) 和歌山・新宮の水野喜和と婚姻 現在の大阪市天王寺区真法院町に「天岡鑄金所」の看板を掲げて活動拠点にする 長女・正子生まれる
36年(1903)	「豊公乗馬像(漆灰製)」制作(内国勲業博覧会3等受賞)
39年(1906)	「大尉全身石膏像」制作(戦捷記念博覧会1等受賞) 青銅製の岩上に座る老人像「東望朔」制作
40年(1907)	「小寺泰次郎像」制作(三田天神公園内)
42年(1909)	「彫刻師」制作(第3回文展出品入賞)
44年(1911)	青銅製の布袋像「破顔一笑」制作
大正2年(1913)	「現身」制作(第7回文展出品作品) 大阪市長・池上四郎の依頼で難波橋のライオン像制作開始 蒔香と再婚
3年(1914)	「銅製廃兵」制作(陸軍大演習時出陳・天覧作品) 「昔を語りつつ」制作(第8回文展出品作品) 「銅製廃兵」大阪府買い上げ
4年(1915)	難波橋のライオン像完成(難波橋竣工) 「信念」制作(第9回文展出品作品) 銀製「国土生成神像」制作(大正天皇即位礼献上)
5年(1916)	銀製「住吉明神像」制作(裕仁親王立太子式に献上)
6年(1917)	「むつかしきふし」制作(第11回文展出品)
7年(1918)	「尊形雲浮文鉄製花入」制作(第6回農商務省展覧会) 大阪彫塑会を結成
8年(1919)	「四方形松文鉄釜」制作(第6回工芸展覧会入賞)
9年(1920)	8ヶ月間渡欧し、仏・伊の西洋美術を学ぶ
12年(1923)	「裸身女」(西洋美術の影響を受けた作品)制作
13年(1924)	「成婚記念塑像」制作(昭和天皇ご成婚記念) 「野猪」制作(第1回大阪市美術協会展覧会出品作品) 大阪市美術協会展覧会の彫塑部門の審査員をつとめる 肺気腫のため大阪市内において死去 享年49歳
14年(1925)	大阪三越で遺作展開催(5月8日より13日間)
昭和10年(1935)	大阪府庁にて蒔香作「巻煙草入」が東久邇宮の台覧を賜る
18年(1943)	「小寺泰次郎像」金属供出のため脱魂式を行い取り壊す
48年(1973)	蒔香死去 享年84歳

本展開催にあたりまして、下記の企業・団体様から協賛いただきました。厚く御礼申し上げます。

あなたが夢見る
未来を目指して

あなたが輝く明日を、ともに



信頼で地域とつながる
大阪シティ信用金庫

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4
TEL. (06) 6201-2881 代表



※写真はイメージです



▲当金庫HP



広田証券

金融×チャレンジ=ワクワク

～自由でユニークな発想で喜びと感動を届けます～



ライオン橋法律事務所

〒541-0041
大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜ゲイトビル901号
TEL:06-4706-8539
FAX:06-4706-8529

弁護士 石田 法子 弁護士 島 尾 恵 理
弁護士 堀 川 智 子 弁護士 藤 下 祥 子
弁護士 中 岡 さつき 弁護士 中 西 教 子

緒方 洪庵 記念 財団

花 外 楼

株式会社 衣笠 設計

株式会社 丹波 屋

株式会社 西村 清月 堂

福 助 グ ル ー プ

医療法人社団 前橋内科循環器科医院

関 連 行 事

■ ギャラリートーク ■

【日 時】:①令和6年5月19日(日)、②6月8日(土)

※いずれも午後2時から30分程度

【担 当】:北上 真生(大阪歴史博物館 学芸員)

【会 場】:大阪歴史博物館 8階 特集展示室

【参加費】:無料(ただし、入場には常設展示観覧券が必要です)

【参加方法】:当日直接会場へお越し下さい。(※事前申込不要)

■ なにわ歴博講座 ■

「難波橋・ライオン像の生みの親・天岡均一」

【日 時】:令和6年6月23日(日)午後1時30分～午後3時

【担 当】:北上 真生(大阪歴史博物館 学芸員)

【会 場】:大阪歴史博物館 4階 講堂(※変更の可能性あり)

※参加費・参加方法等の詳細は、決まり次第、
当館ホームページにてお知らせします。

開 館 時 間:午前9時30分～午後5時

※入館は閉館30分前まで

休 館 日:火曜日 ※ただし、4月30日(火)は開館

料 金:常設展観覧券でご覧になれます

大人600円(540円)

高校生・大学生400円(360円)

※()内は20名以上の団体料金

※中学生以下、大阪市内在住の65歳以上
(要証明証提示)の方、障がい者手帳などを
お持ちの方(介護者1名を含む)は無料

会 場:大阪歴史博物館 8階 特集展示室

展 示 担 当:北上 真生

主 催:大阪歴史博物館

共 催:三田市郷土先哲顕彰会 三田市

後 援:神戸新聞社



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪 市 中 央 区 大 手 前 4-1-32
TEL.06-6946-5728 FAX.06-6946-2662

Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前

